

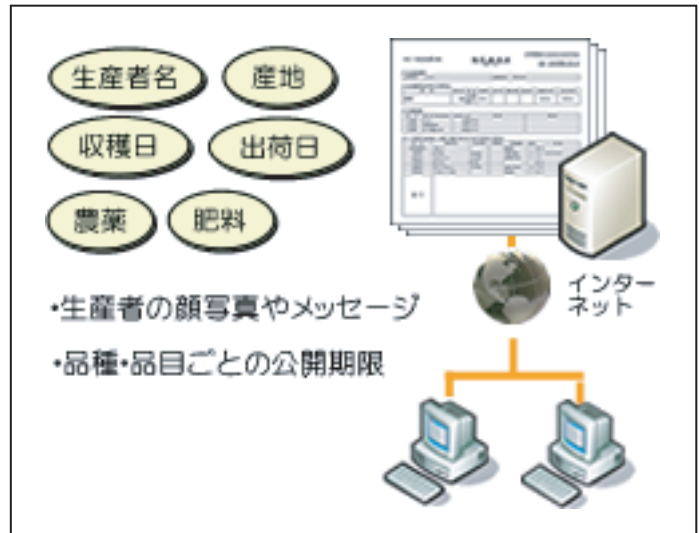
青果トレーサビリティシステム

青果トレーサビリティシステムは、生鮮野菜・果物を対象とした栽培履歴管理ソリューションです。日々出荷される食材の生産地、生産者、肥料、農薬などを、購入者がインターネットを利用して閲覧することが出来ます。

食への信頼回復とトレーサビリティの必要性

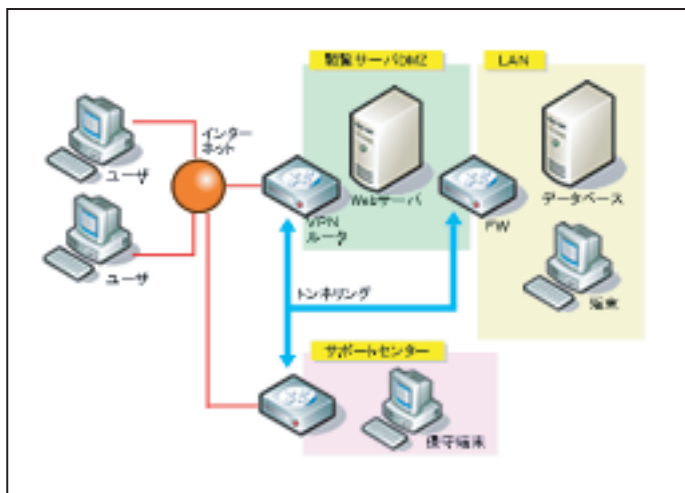
昨今の食品業界の不祥事により、消費者の食の安心安全へのニーズが高まっています。

本システムは、生産者が提供する青果物の生産者名、生産地、施肥情報、薬剤情報をデータベース化し、卸売業者・消費者にインターネット上で公開します。ユーザは自身の購入した食品に関する情報を閲覧し、食の安全性を確認することができます。生鮮食品は、出荷から実際の消費までの時間が比較的短く、データの更新・削除のタイミングが品目ごとに異なるため、個々の品目ごとに情報の公開期限を設定したり、生産者の顔写真や栽培風景、メッセージ、エコ・ファーマー情報などの登録も可能にしました。また販売管理システムより買参人のデータをCSV取り込み可能にするなど、他システムとの統合・連携機能も強化しました。



インターネットとセキュリティ、そしてユーザビリティ

独自ドメインを取得し、トレーサビリティ専用のWebサーバを構築。また非公開データの保護のため、ファイアウォール内にDBサーバを配置し、Webサーバからの認証アクセスに応答します。



WebアプリケーションをベースとしながらもAccessフォームからの直接データ登録が可能にするなど、細部の機能を充実させています。

データ検索にはアプリケーションサーバTomcatを使用しています。遠隔地からの操作指導やシステムメンテナンスが行えるよう、インターネットVPNを採用し、バックアップなどの保守性を向上させています。